

## 第2期

# 運用報告書(全体版)

## ブラジル国債ファンド

【2024年6月14日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「ブラジル国債ファンド」は、2024年6月14日に第2期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**SBI 岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年6月15日から2045年6月14日までです。	
運用方針	ブラジル国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、ブラジルリアル建のブラジル国債に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。また、ブラジルリアル建の国際機関債、ブラジル国債に準ずる債券へ投資を行う場合があります。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ブラジル国債マザーファンド	ブラジル国債を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	ブラジル国債マザーファンド	外貨建資産の投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年6月14日および12月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後]		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税分 込配	み金 騰落	期騰 落	中率			
(設定日) 2023年6月15日	円 10,000	円 —	円 —	ポイント 34,532.683	% —	% —	% —	百万円 50
1期(2023年12月14日)	10,393	0	3.9	36,687.591	6.2	96.1	—	80
2期(2024年6月14日)	10,465	0	0.7	37,578.439	2.4	97.4	—	103

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後]は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

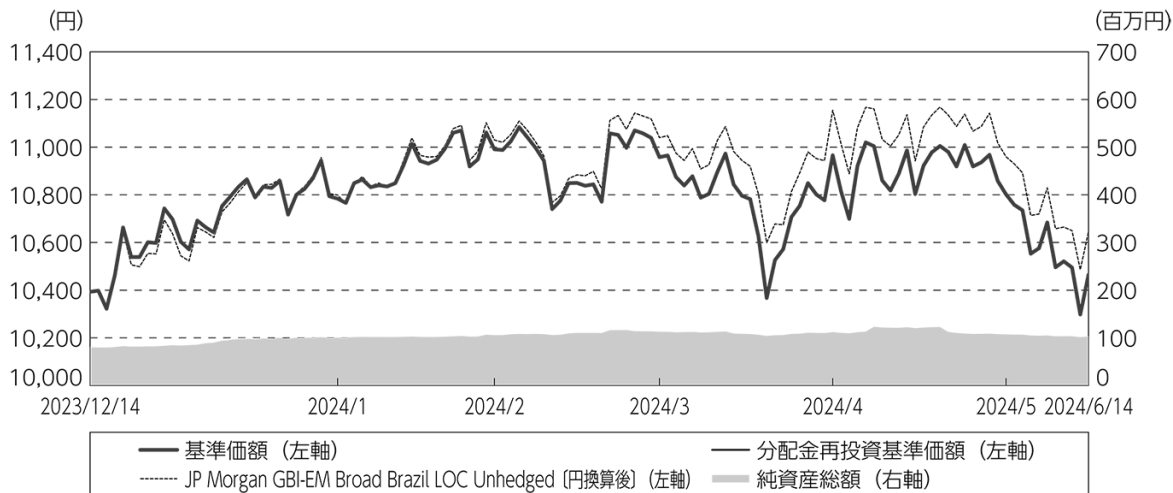
年月日	基準価額		JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後]		債組入比率	債券先物比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2023年12月14日	円 10,393	% —	ポイント 36,687.591	% —	% 96.1	% —
12月末	10,603	2.0	37,219.308	1.4	93.6	—
2024年1月末	10,784	3.8	38,121.314	3.9	94.8	—
2月末	10,991	5.8	38,937.177	6.1	97.4	—
3月末	10,958	5.4	38,970.996	6.2	96.3	—
4月末	10,966	5.5	39,376.487	7.3	94.4	—
5月末	10,802	3.9	38,688.243	5.5	96.7	—
(期末) 2024年6月14日	10,465	0.7	37,578.439	2.4	97.4	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年12月15日～2024年6月14日)



期首：10,393円

期末：10,465円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 0.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後]です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2023年12月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ブラジル国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ブラジル国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したことがプラスとなりました。
- ・ブラジルリアルが対円で上昇したことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・保有していたブラジル国債の利回りが上昇し価格が下落したことが、マイナスとなりました。

なお、保有していたブラジル国債の価格下落によるマイナスと、利息収入獲得によるプラスはほぼ同程度となりました。

**投資環境**

(2023年12月15日～2024年6月14日)

**<債券市場>**

ブラジル債券市場では、期を通じて利回りが上昇（価格は下落）しました。当期においては、米国の早期利下げ観測が後退したことを受けて、2024年に入り利回りが緩やかに上昇する展開となりました。その後4月にはブラジル政府が基礎的財政収支の目標を下方修正したことから、ブラジルの財政に対する懸念が高まり、利回りが一段と上昇しました。また、ブラジル中央銀行（BCB）が5月の金融政策委員会において、利下げ幅をこれまでの0.5%から0.25%に縮小するとともに、今後の利下げにやや慎重な見方を示したことも利回り上昇を後押しする要因となりました。

**<為替市場>**

為替市場では、主要先進国と日本との内外金利差が意識され、総じて円安圧力の強い相場展開が続きました。このため、2024年4月下旬にはブラジルレアルが対円で2023年11月以来の高値となる31円台に上昇しました。しかし、その後は政府・日銀が円買い介入を実施したことに加え、ブラジルの財政に対する懸念からブラジルレアルの売りが優勢となったことを受けて、期末にかけてブラジルレアルは対円で上げ幅を縮小する動きとなりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年12月15日～2024年6月14日)

**<ブラジル国債ファンド>**

「ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を高位に維持しました。

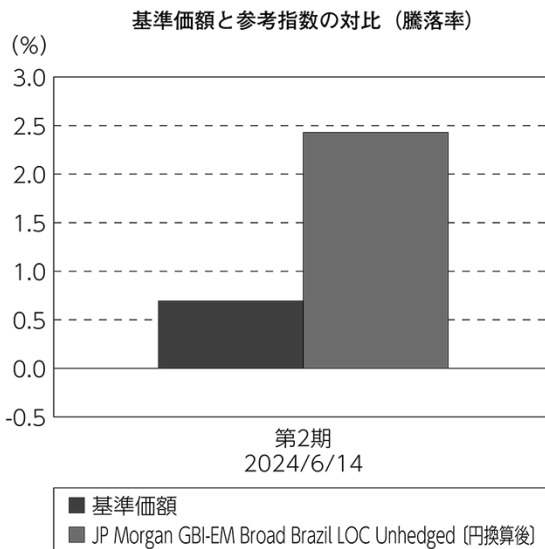
○ブラジル国債マザーファンド

ファンドへの投資資金の流入出に対応し、ポートフォリオの調整を行うとともに、組入比率を高位に維持しました。期末時点のポートフォリオは、残存期間が短い割引国債2銘柄と残存期間が長い固定利付国債3銘柄で構成されており、保有債券の平均利回りは11.80%、平均残存年数は6.05年となりました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年12月15日～2024年6月14日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後]の騰落率を1.7%下回りました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後] です。

分配金

(2023年12月15日～2024年6月14日)

当ファンドは、毎年6月14日および12月14日 (それぞれ休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、分配対象収益の範囲内で委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。

当期につきましては、投資信託財産の成長に重点を置き、分配は行いませんでした。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第2期
	2023年12月15日～ 2024年6月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	563

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (投資環境の見通し)

ブラジル債券市場では、ブラジルの財政に対する懸念の高まりなどを背景に、期末にかけて利回りが大幅に上昇しました。一方、消費者物価指数の伸び率がBCBのインフレ目標レンジ（3%±1.5%）の範囲内に収まっていることから、中期的には政策金利の引き下げ余地が残されるとともに、債券利回りの上昇を抑制する要因になると見えています。また、米国においてインフレ率の鈍化や景気減速を示唆する経済指標の発表が増えているため、今後は米国の利下げ期待が高まることが想定され、相対的に利回り水準の高いブラジル国債が選好されやすいと判断しています。

為替市場では、日銀の追加利上げが視野に入っているものの、今後の日銀の利上げペースは非常に緩やかなものにとどまると予想されることから、中期的な円安地合いが継続する可能性が高いと見えています。また、米国が利下げ局面入りする際には、ブラジル金融市場への投資資金の流入が増加し、ブラジルレアルの下支え要因として働くと考えています。

### (運用方針)

#### <ブラジル国債ファンド>

主要投資対象である「ブラジル国債マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

#### ○ブラジル国債マザーファンド

運用にあたっては、ブラジルの金利環境、景気動向、政治情勢、財政状況や、海外情勢等を基にポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年12月15日～2024年6月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	13	0.124	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 8 )	(0.072)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 4 )	(0.038)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	21	0.191	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(19)	(0.178)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 1 )	(0.006)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	34	0.315	
期中の平均基準価額は、10,850円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

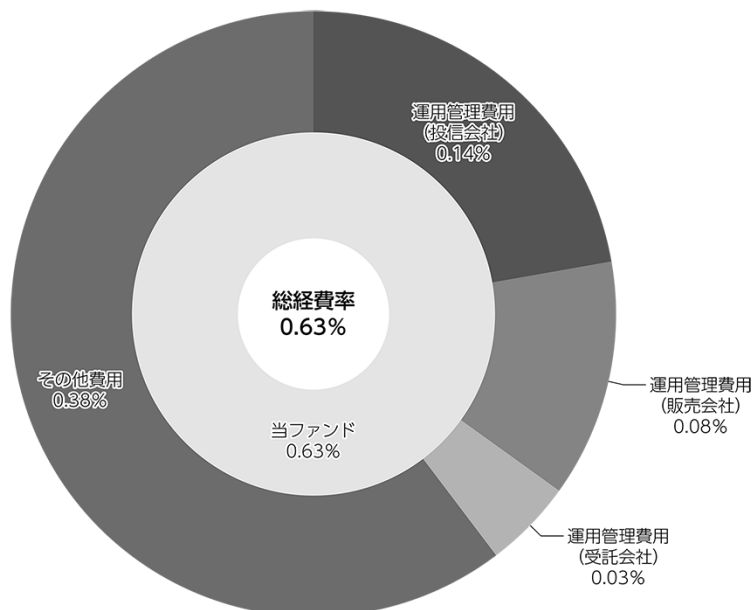
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.63%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



○売買及び取引の状況

(2023年12月15日～2024年6月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ブラジル国債マザーファンド	千口 41,295	千円 44,850	千口 20,221	千円 22,141

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月15日～2024年6月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年12月15日～2024年6月14日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 50	百万円 -	百万円 -	百万円 50	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨て。

○組入資産の明細

(2024年6月14日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ブラジル国債マザーファンド	千口 76,720	千口 97,793	千円 102,341

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年6月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ブラジル国債マザーファンド	千円 102,341	% 99.2
コール・ローン等、その他	813	0.8
投資信託財産総額	103,154	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（100,349千円）の投資信託財産総額（102,339千円）に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1ブラジルレアル=29.3084円です。

ブラジル国債ファンド

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年6月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	103,154,787
コール・ローン等	813,576
ブラジル国債マザーファンド(評価額)	102,341,210
未収利息	1
(B) 負債	138,185
未払解約金	3,000
未払信託報酬	128,394
その他未払費用	6,791
(C) 純資産総額(A-B)	103,016,602
元本	98,439,726
次期繰越損益金	4,576,876
(D) 受益権総口数	98,439,726口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,465円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0465円です。  
(注) 当ファンドの期首元本額は77,035,680円、期中追加設定元本額は48,748,160円、期中一部解約元本額は27,344,114円です。

○損益の状況 (2023年12月15日～2024年6月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	151
受取利息	154
支払利息	△ 3
(B) 有価証券売買損益	△ 904,263
売買益	797,213
売買損	△1,701,476
(C) 信託報酬等	△ 135,198
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,039,310
(E) 前期繰越損益金	1,789,299
(F) 追加信託差損益金	3,826,887
(配当等相当額)	( 1,358,078)
(売買損益相当額)	( 2,468,809)
(G) 計(D+E+F)	4,576,876
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	4,576,876
追加信託差損益金	3,826,887
(配当等相当額)	( 1,710,301)
(売買損益相当額)	( 2,116,586)
分配準備積立金	3,839,191
繰越損益金	△3,089,202

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 収益分配金

	決算期	第2期
(a) 配当等収益(費用控除後)		2,049,892円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)		0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金		1,710,301円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金		1,789,299円
分配対象収益(a+b+c+d)		5,549,492円
分配対象収益(1万口当たり)		563円
分配金額		0円
分配金額(1万口当たり)		0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

ブラジル国債ファンド

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

ブラジル国債マザーファンド

第1期 運用状況のご報告

決算日：2024年6月14日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ブラジルレアル建のブラジル国債に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。また、ブラジルレアル建の国際機関債、ブラジル国債に準ずる債券へ投資を行う場合があります。
主要投資対象	ブラジル国債を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産の投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔円換算後〕 (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
(設定日) 2023年6月15日	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
	10,000	—	34,532.683	—	—	—	49
1期(2024年6月14日)	10,465	4.7	37,578.439	8.8	98.1	—	102

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しています。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

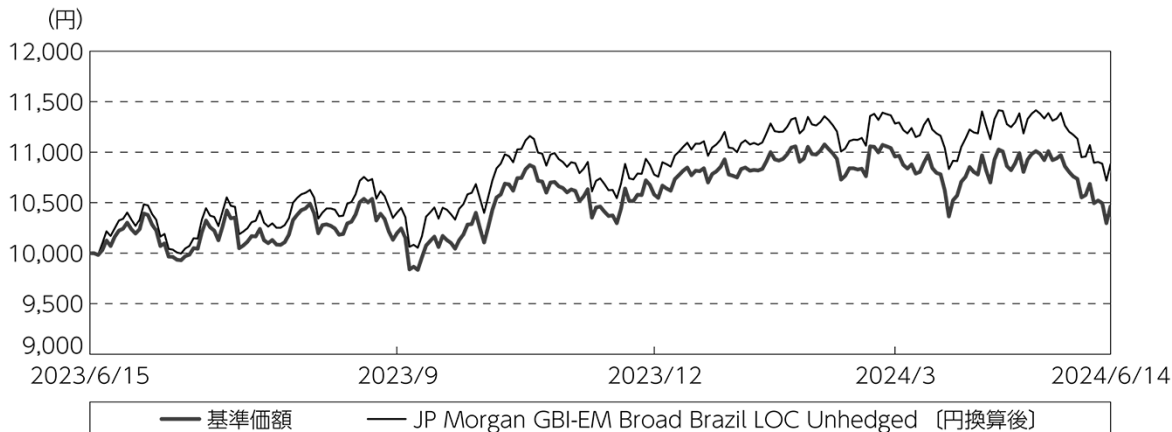
年 月 日	基 準 価 額		JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged 〔 円 換 算 後 〕 (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	ポ イ ン ト	騰 落 率		
(設定日) 2023年6月15日	10,000	—	34,532.683	—	—	—
6月末	10,238	2.4	35,677.556	3.3	90.8	—
7月末	10,264	2.6	35,952.114	4.1	97.8	—
8月末	10,394	3.9	36,431.367	5.5	89.7	—
9月末	10,200	2.0	35,920.529	4.0	98.0	—
10月末	10,107	1.1	35,911.091	4.0	96.1	—
11月末	10,602	6.0	37,483.895	8.5	96.2	—
12月末	10,580	5.8	37,219.308	7.8	94.1	—
2024年1月末	10,768	7.7	38,121.314	10.4	95.3	—
2月末	10,981	9.8	38,937.177	12.8	97.9	—
3月末	10,958	9.6	38,970.996	12.9	96.8	—
4月末	10,970	9.7	39,376.487	14.0	95.0	—
5月末	10,804	8.0	38,688.243	12.0	97.4	—
(期 末) 2024年6月14日	10,465	4.7	37,578.439	8.8	98.1	—

(注) 騰落率は設定日比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2023年6月15日～2024年6月14日)



(注) 参考指数は、JP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後] です。

(注) 参考指数は、設定日(2023年6月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・ブラジル国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したことがプラスとなりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・ポートフォリオ構築直後と期末との比較において、ブラジルレアルが対円で小幅に下落したことがマイナスとなりました。

なお、保有していたブラジル国債の利回りが上昇し価格が下落したことは、基準価額の下落要因となりましたが、利息収入獲得によるプラスが大幅に上回りました。

### 投資環境

(2023年6月15日～2024年6月14日)

#### <債券市場>

ブラジル債券市場では、2年国債利回り、10年国債利回りともに上昇(価格は下落)しました。当期においては、米国の長期債利回りの急上昇を嫌気し、2023年9月から10月にかけて利回り上昇が進行しました。その後、ブラジル中央銀行(BCB)による段階的な利下げと米国における早期利下げ観測の台頭を背景に、年末にかけては利回り低下(価格は上昇)が鮮明となりました。2024年に入ると、米国の早期利下げ観測の後退とともに、利回りが緩やかに上昇する展開となりました。その後4月にはブラジル政府が基礎的財政収支の目標を下方修正したことから、ブラジルの財政に対する懸念が高まり、利回りが一段と上昇して期末を迎えました。

## ＜為替市場＞

為替市場では、ブラジルレアルが対円で29円台半ばを挟んで方向感なく上下するスタートとなりましたが、ブラジルの債券・株式市場への資金流入期待が強まり、2023年11月には対円で一時5年ぶりの高値となる31円台に急伸する展開となりました。しかし、年末にかけては、海外の主要先進国と日本との金利差が急速に縮小するなか、円が全面高の展開となり、ブラジルレアルは対円で28円台に急反落しました。2024年に入ると、主要先進国と日本との内外金利差が意識され、総じて円安圧力の強い相場展開が続きました。このため、4月下旬にはブラジルレアルが対円で2023年11月以来の高値近辺まで上昇しました。その後は政府・日銀が円買い介入を実施したことに加え、ブラジルの財政に対する懸念からブラジルレアルの売りが優勢となったことを受けて、ブラジルレアルは対円で29円台前半に反落して期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年6月15日～2024年6月14日)

ファンドの設定と同時に段階的にブラジル国債を組み入れ、概ね1週間でポートフォリオの構築を完了しました。その後は、ファンドへの投資資金の流出入に対応し、ポートフォリオの調整を行うとともに、組入比率を高位に維持しました。期末時点のポートフォリオは、残存期間が短い割引国債2銘柄と残存期間が長い固定利付国債3銘柄で構成されており、保有債券の平均利回りは11.80%、平均残存年数は6.05年となりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年6月15日～2024年6月14日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としていたJP Morgan GBI-EM Broad Brazil LOC Unhedged [円換算後]の騰落率を4.1%下回りました。

## 今後の運用方針

### (投資環境の見通し)

ブラジル債券市場では、ブラジルの財政に対する懸念の高まりなどを背景に、期末にかけて利回りが大幅に上昇しました。一方、消費者物価指数の伸び率がBCBのインフレ目標レンジ(3%±1.5%)の範囲内に収まっていることから、中期的には政策金利の引き下げ余地が残されるとともに、債券利回りの上昇を抑制する要因になると見えています。また、米国においてインフレ率の鈍化や景気減速を示唆する経済指標の発表が増えているため、今後は米国の利下げ期待が高まることが想定され、相対的に利回り水準の高いブラジル国債が選好されやすいと判断しています。

為替市場では、日銀の追加利上げが視野に入っているものの、今後の日銀の利上げペースは非常に緩やかなものにとどまると予想されることから、中期的な円安地合いが継続する可能性が高いと見えています。また、米国が利下げ局面入りする際には、ブラジル金融市場への投資資金の流入が増加し、ブラジルレアルの支え要因として働くと考えています。

### (運用方針)

運用にあたっては、ブラジルの金利環境、景気動向、政治情勢、財政状況や、海外情勢等を基にポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。



○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年6月15日～2024年6月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(39)	(0.373)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(25)	(0.238)	その他は、ブラジル国債売却時の金融取引税等
合 計	65	0.610	
期中の平均基準価額は、10,572円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2023年6月15日～2024年6月14日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 10,888	千ブラジルレアル 7,418 ( 100)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2023年6月15日～2024年6月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年6月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	3,600	3,423	100,349	98.1	98.1	67.1	—	31.0
合 計	3,600	3,423	100,349	98.1	98.1	67.1	—	31.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル			%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	
国債証券	BRAZIL NTN-F 10		10.0	500	476	13,964	2031/1/1
	BRAZIL NTN-F 10		10.0	1,200	1,124	32,946	2033/1/1
	BRAZIL NTN-F 10		10.0	800	740	21,708	2035/1/1
	BRAZIL-LTN 0		—	600	597	17,508	2024/7/1
	BRAZIL-LTN 0		—	500	485	14,220	2024/10/1
合 計						100,349	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年6月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	100,349	98.1
コール・ローン等、その他	1,990	1.9
投資信託財産総額	102,339	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(100,349千円)の投資信託財産総額(102,339千円)に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1ブラジルレアル=29.3084円です。

ブラジル国債マザーファンド

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年6月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	102,339,416
コール・ローン等	1,989,789
公社債(評価額)	100,349,625
未収利息	2
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	102,339,416
元本	97,793,799
次期繰越損益金	4,545,617
(D) 受益権総口数	97,793,799口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,465円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0465円です。

(注) 当ファンドの当初設定元本額は49,750,000円、期中追加設定元本額は265,433,546円、期中一部解約元本額は217,389,747円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ブラジル国債ファンド 97,793,799円

○損益の状況 (2023年6月15日～2024年6月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,335,399
受取利息	3,336,897
支払利息	△ 1,498
(B) 有価証券売買損益	4,091,234
売買益	7,976,365
売買損	△3,885,131
(C) その他費用等	△ 548,747
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,877,886
(E) 追加信託差損益金	5,399,818
(F) 解約差損益金	△7,732,087
(G) 計(D+E+F)	4,545,617
次期繰越損益金(G)	4,545,617

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日：2023年7月1日)